

年 組 名前:

猿橋の魅力伝えて10年

大月市猿橋町猿橋の鈴木きぬ江さん(81)は10年以上にわたり、市の名勝・猿橋周辺でボランティアの観光ガイドをしている。バスガイドを務めた経験を生かし、猿橋の歴史などについてぬいぐるみや替え歌を用いながら分かりやすく解説している。鈴木さんは「これからも猿橋の魅力を自分なりに伝えていきたい」と話している。
 〈飯野終平〉



猿橋でボランティアの観光ガイドを務める鈴木きぬ江さん

＝大月市猿橋町猿橋

大月・鈴木さん 人形や替え歌で解説

旧諏訪町出身の鈴木さんは、旧大月市へ移住。バスガイドを約4年務め、観光地を巡るツアーに帯同した。退職後も知り合いに頼まれバスガイドを務めることもあったという。2010年に市が観光ボランティアを募集していることを知り、「人と話しながら役に立てることをしたかった」と引き受けることを決めた。

景を見た職人が、橋脚を使わない工法を生み出したと言いつた猿のぬいぐるみを使いながら解説。童謡「あんたがたどこさ」のリズムに合わせて言い伝えを紹介する替え歌も作った。「来てくれた人に喜んでもらうことをモットーに続けてきた」と語る。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、20年からボランティア活動は休止していたが、今年11月の紅葉シーズンの影響もあり、20年からボランティア活動は休止していたが、今年11月の紅葉シーズンでもお客さんに還元したいと話している。

猿橋の成り立ちでは、猿が体を支え合って橋を架ける光景を見た職人が、橋脚を使わない工法を生み出したと言いつた猿のぬいぐるみを使いながら解説。童謡「あんたがたどこさ」のリズムに合わせて言い伝えを紹介する替え歌も作った。「来てくれた人に喜んでもらうことをモットーに続けてきた」と語る。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、20年からボランティア活動は休止していたが、今年11月の紅葉シーズンでもお客さんに還元したいと話している。

(2023年12月5日付 山梨日日新聞17面)

問1 大月市猿橋町の鈴木さんは、どのような経験を生かし、ボランティアの観光ガイドをしていますか。

.....

問2 猿橋の工法には、どのような言い伝えがありますか。

.....

問3 鈴木さんは、歴史を伝えるために、どのような工夫をしていますか。

.....

問4 あなたなら、山梨県のなにを、旅行者に紹介したいですか。

.....